医療連携推進方針

1. 医療連携推進区域

大館市、鹿角市、鹿角郡小坂町

2. 参加法人（代表者）

大館市	(市長 石田 健 佑)
医療法人健永会	(理事長 庄 司 太 郎)
医療法人楽山会	(理事長 小笠原 真 澄)
社会福祉法人大館市社会福祉事業団	(理事長 名 村 伸 一)

【参加病院、介護施設等】

大館市立総合病院、大館市立扇田病院

大館記念病院

大湯リハビリ温泉病院、大湯リハビリ温泉病院介護医療院、ケアハウス温泉保養館おおゆ

大館市特別養護老人ホームつくし苑、大館市ケアハウスほうおう、大館市養護老人ホーム成章園

3. 理念・運営方針

(1) 理念

少子高齢化社会が急速に進展する中で、区域内の限られた医療資源等を効果的、効率的に活用するとともに、相互の機能分担や業務連携を進め、住民が住み慣れた地域で将来にわたって必要な医療・介護サービスを受けられる地域包括ケアシステムの構築を目指す。

(2) 運営方針

- ・地域のニーズに即した医療機能の分担や連携を推進し、質の高い、医療を効率的に提供することによって秋田県地域医療構想の達成に資することを目指す。
- ・参加法人の専門性や特色を活かし、職員相互の情報共有や技術研鑽を行い、地域の医療水準の向上に寄与する。
- ・医療機関をはじめとして、介護、介護予防などのサービスを包括的に提供する事業者等にかかれた組織とし、地域包括ケアシステムの構築を目指す。

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

(1) 医療従事者など職員の相互派遣

- ・医療・介護従事者の確保体制を整備し、参加法人間で職員の派遣を行う。

(2) 患者の病状に応じた医療・介護の提供

- ・医療資源を効果的に活用するため、救急・急性期医療機能については大館市立総合病院への集約化を進め更なる高度化を図る。
- ・病床機能転換に関する情報共有など参加法人間の連携を強化することにより、入院患者の急性期医療から回復期・慢性期入院医療、介護サービスを含む在宅療養生活への円滑な移行を推進する。

(3) 災害時の協力体制構築

- ・災害時におけるスタッフの相互応援及び入院患者の受け入れ、備蓄品の確保等、発災時においても住民に安心して医療サービスを受け、療養していただくことができるよう、万一に備えた連携協力体制の構築を図る。

(4) 職員研修等の共同実施による人材育成

- ・医療従事者等のスキルの向上を目指し、職員研修等の共同実施や人事交流を行う。

(5) ICTに関する情報共有と連携推進による業務の効率化

- ・参加法人において導入済のICTに関する情報を共有し、更なるDX推進を図ることで地域住民に対するきめ細やかなサービス提供と現場の負担軽減につなげる。

(6) 物品購入、委託業務など共同交渉などによる費用削減

- ・医薬品、診療材料、物品、委託業務等に関する情報の共有や規格の標準化を進めるとともに共同交渉及び共同調達の実施を検討し、参加法人の経営効率化を図る。

5. 介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項

- ・住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援等のサービスを包括的に提供できる地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組む。

(記載上の注意事項)

- 「2」については、参加法人、参加病院等及び参加介護施設等の名称を記載すること。
- 「4」については、地域医療構想の達成の観点から参加病院等が実施する機能分担及び業務連携について記載すること。
- 「5」については、医療法第70条の2第4項に基づき、参加病院等及び参加介護施設等の相互間で業務連携を実施する場合に記載すること。